

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2012 年
9 月号

VOL.371



HP情報（会員ページ）

○神奈川県 平成23年度 新たな応
急仮設住宅調査検討業務委託報告書
について



目次

① ② 建築探訪

③ 会員建築作品紹介

④ 歴史的建造物を訪れて

⑤ ⑥ シリーズ ぶらり町並み散策

⑦ 委員会活動報告（景観・まちづくり特別委員会）

委員会活動報告（設計監理指導委員会）

⑧ 横浜銀行と当会との
住宅ローンに関する協定の締結

会員の広場

⑨ 賛助会員紹介

旅のクイズ

⑩ 事務局便り

編集後記

裏表紙 支部だより

中画特別版

シリーズ

知って得する木造住宅の知識（14）

日本建築士事務所協会連合会は
創立 **50** 周年を迎えました

建築探訪

「ホキ美術館」

湘南三浦支部 相馬 立夫

去る6月16日、神事協湘南三浦支部見学例会で、千葉のホキ美術館に行ってきました。

ホキ美術館は、名前のナゾめいた響きと、意表をつくキャンティレバーの外観に加え、写実絵画だけを集めた、変り種の美術館だということで、以前から気になっていた建物です。

今回改めて調べてみると、設計を日建設計、施工が大林組という、東京スカイツリーと同じチームが担当、2008年10月着工、2010年9月竣工、同年11月に開館との事。

今回は「建物探検セミナー・夜バージョン」という美術館主催の企画で、日建設計で実際に担当した設計者の方のお話を聞きながら建物を見学し、しかも後半は、通常の閉館時間以降で、一般の見学者は帰った後で、ツアー参加者の独占状態なので、通常はご法度の館内の写真撮影もOKというユニークな企画です。(ただし、絵画作品の撮影はしないでくださいとの注意つきですが)

さて、当日はあいにくとお天気にはめぐまれず、朝からしとしと雨。ツアー開始は16時30分なので15時に最寄のJR外房線、土気(とけ)駅に集合シタクシーで乗りあって5分ほどで美術館に到着。ちなみに駅からは2kmほどでバスも出ているとの事。

現地についてみると、おや、美術館はどこに？と思ってしまうほど、正面側の外観は控えめなもので、ちょっと肩すかしを食ったような気さえしました。

まずは、外観を一周。正面から左回りで進むと、細長いボリュームが、数箇所スタックされ、宙に架けられているようすがみえてくる。さらに真後に回り込むと、建築雑誌等で目にした、30

メートルのキャンティレバーの全貌が現れる。さすがに圧巻。

ここまできると、隣接した昭和の森公園が見えてくる、この公園は面積101ヘクタールに及ぶ広大な公園とのこと。この公園を一日かけてゆっくり散策するのもよさそうです。

外周りをざっと一周し、早速入館して絵を鑑賞することにする。今回の楽しみは、建築もさることながら、写実絵画だけのコレクションというもの、かなり、見てみたいという興味を惹かれる。

受付を済ませ、展示室に進もうとすると、突き当たりに置かれたソファに、ちょっと気になる、妙に存在感のある、年配の、恰幅のいい、大柄な男性が座っておられる。この人も、今日の企画に来た人かな？美術好きかな？建築好きかな？とぼんやり考えながら、突き当たりを曲がり、つつら折れをへて、展示室に到達。

最初の展示室は長さ70メートル程度、幅は2.5～5m程度に変化がつけられ、ゆっくりとカーブを描いた細長い空間で、右側足元にずうっと連続する窓が設けてある。その空間の中に、写真と見まごう写実絵画が並べられている。絵画の、画家が絵の具を用いて封じ込めた絵のなかの「光」とそれを照らす建築装置の「光」そこに連続する横長窓から入ってくる、外の実物の風景と「光」とが、なんだか見ているうちに入り乱れてくるような気持ちにとらわれてきて、一種不思議な世界が作り上げられているように感じた。

絵は、風景あり静物あり人物あり、様々で、一貫しているのは写実絵画という一点。絵を見ながら、歩を進めているうちに、あれっと思う一枚の人物画に。「これって、さっきレセプションホールのソファに座ってたおっさんじゃん！」そうです。絵のオーナーで美術館館長のホキ氏の写実絵画が。近くで絵を見ていた仲間数名が顔を見合わせ、そうか、今思えば、やっぱりね、という感じで目配せしあったのでした。

そもそも、ホキ美術館とは、東証第二部上場、株式会社ホギメディカルを一代で起こし、築き上げた保氣将夫(ほきまさお)氏が長年個人的に収集してきた写実絵画約300点を収蔵し一般公開するために作られた、個人コレクションの美術館との事。

ホキという響きに、お年を召した音楽好きの方はあの文豪ヘンリーミラーの妻としても有名な、ジャズシンガーでピアニストのホキ徳田と



いう名前を思い浮かべられる方もおられるかも。ちなみに、ホキ徳田の「ホキ」は本名のヒロコを、カナダ留学中のクラスメートが「ホキ」と呼んだ(なんで?)ことが発端の、単なる愛称のようで、無関係。なんか響きはスペイン語か何かみたいだけど保気さんのホキは立派な日本語なんですね。

展示されたコレクションは充実しており、1時間程度ではとても見切れませんでした。それなりにさくさく見て、展示された3分の2程度のところで、建物探検セミナーの集合時間に。

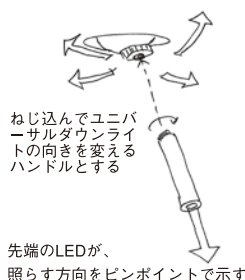
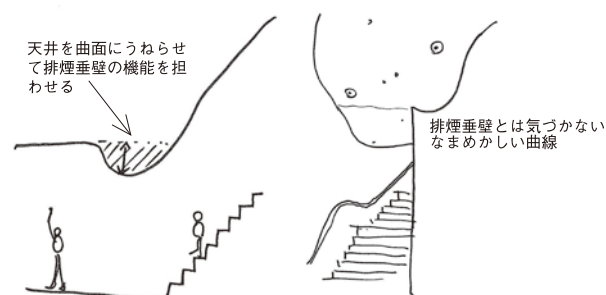
集合場所のエントランスホールに行ってみると結構な人ばかり。予約時に、建築関係イベントは人気があり、すぐ一杯になってしまいますと云われたが、なるほどと納得。

ツアーを先導するのは日建設計の鈴木隆氏、若干30代前半のイケ面アーキテクト。あいにくの雨の中、まずは外回りから説明を聞きながら見学。やはりキャンティレバー部の揺れにはだいぶ神経を使ったとのことで、最後の保険として、キャンティ部分に柱を1本追加できるよう、最後の最後まで検討を重ね、実際に基礎まで打ってあるという。最終的には建て方を終えて、キャンティ部分に職人さん設計者等実際に乗って揺れを確かめて大丈夫だと感触を得てオーケーの判断を下したとのエピソードも披露。机上、計算上で大丈夫だろうとの見通しをつけつつも、実際のモノが出来てみるまで最終的なリスクに対する逃げみちをつくっておく、粘り越しのしたたかな姿勢(リスクマネジメント)に、感心させられた。

もっとも、現場をよく見ると、キャンティ部分は実際に展示に用いられ人が立ち入り出来るゾーンと、立ち入りは出来ず見るだけの視覚的なテラスとが、斜めに横断するガラスで、さりげなく意図的に仕切られており、ホントの先端

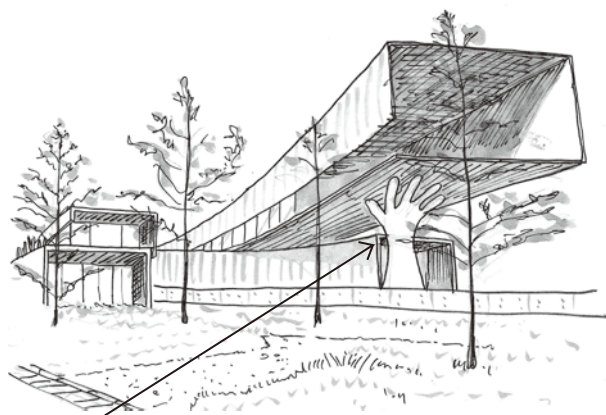
にはひとは行けないようになっている。「超大なキャンティ」と「揺れない床」という矛盾する命題を同時に成立させる、チャレンジすることと、確実な成果を得ることを、同時になしうる一種のしたたかなマジックだと感じさせられた。

その他にも、天井面を湾曲させることで存在を感じさせない垂壁、非常スピーカーの存在感を消すためにスピーカーの小穴の面積の総計とダウンライト径の開口面積が等しいことを証明して役所を説得したり、LED照明の微妙な調整を容易にさせるドライバー兼ポインターの治具を作る、火打石の原理を用いた配線不要のスイッチを展示説明の起動用に採用し、展示替え時にどこでも移動できるようにする、などなど、アイディアに満ちていて、時間を忘れてしまうような楽しいツアーでした。



■施設概要

施設構成：展示室、ミュージアムレストラン（イタリアンレストラン「はなう」）、ミュージアムカフェ、ミュージアムショップ、収蔵庫
 展示室数：回廊型ギャラリー3層9室
 敷地面積：約3,860㎡
 延床面積：約3,720㎡
 展示室面積：約1,800㎡
 階数：地上1階地下2階
 構造：RC造、一部鉄骨造
 工期：着工2008年10月～竣工2010年9月
 設計：日建設計
 施工：大林組



こんなところに柱が建っていたかもしれない?

表紙のこぼれ

メインの写真キャンティレバーの見える全景写真は湘三支部総務でいつもお世話になっている(株)REAL一級建築士事務所 磯さんのご提供によるものです。

私はなぜか、後方よりの写真を一枚も撮っていませんでした。

会員建築作品紹介

川崎支部 (有) 上原建築設計事務所 上原 伸一



【南西側より全体を見る】

全体の意匠はコンクリート打ち放しのフレームと同系色の柱型によってまとめました。屋上プールの外壁であるコンクリート打ち放しのボリュームが校庭側からのアイストップとなっています。



【中庭からの見上げ】

中央にシンボルツリーのある中庭は子供の憩いの場となります。曲面の壁を一段濃い色彩とすることで、中庭のアクセントとしました。



【廊下に面する多目的ホール】

廊下とは可動間仕切りで仕切られ、用途に応じて教室・廊下と一体的な利用が可能であり、フレキシブルな利用形態が想定されています。

■施設概要

所在地：川崎市中原区宮内
構造：鉄筋コンクリート構造 4 階建
敷地面積：11,461.15㎡
延床面積：8,886.98㎡
建築面積：3,791.07㎡

【屋上より中庭】

屋上には太陽光発電パネルを設置し、環境への配慮を意識しています。



【避難階段】

避難階段の防火扉はエリアごとに異なるカラーが用いられ、子供にも分かりやすい避難計画が可能です。



【廊下ベンチコーナー】

中庭からの自然光が差し込む廊下は一部にベンチを設け、子供の憩いの場となるようにしました。



地域の核となる小学校

川崎市立宮内小学校の改築では、地域の核としてまた生涯学習やまちづくりの中心として将来にわたって地域のシンボルとなり得る施設、子どもたち、先生、地域住民のふれあいの場、活動の場として地域に開かれた施設、また地域防災の拠点として強固で有効な施設として計画、また環境共生と環境負荷の低減に取り組み、他世代の人々の様々な要求にフレキシブルに対応できるようゆとりのある空間づくりで長期にわたる使用が可能な建物を目指しました。

平面計画では敷地を有効に生かすために、中庭を囲む形で管理ゾーン(職員室等)、学年クラスターゾーン(オープンスペース+クラスルーム)、特別教室ゾーン(図工・理科・音楽等)、開放ゾーン(体育館・図書等)を配置し、回遊性を持たせた廊下により各室に至る動線の効率化と避難経路の明確化が図られています。またこのシンボルツリーのある中庭は、ピロティを通じて登下校あるいは開放のための動線及び監視やコミュニティーの形成の空間としても有効です。設計を担当した当事務所としては、今後この学校が、生徒の皆さんや地域の皆様に永く愛され続けることを願っています。

～歴史的建造物を訪れて～

Vol.54

内野家(旧内野醤油店)について ～その1～ 県西支部 芝 京子

まだ高校生の頃、小田原市城山の小高い山の上にあった学校に通っていましたが、朝、遅刻しそうになると、父に車で箱根から学校まで送ってもらい、帰りが遅くなると学校まで車で迎えに来てもらった記憶の中、板橋の旧街道の内野醤油店の前を通るのが常でした。

父は通るたび、この建物は明治時代の建物で、蔵が……。裏には醤油製造工場が……。軒先をよく見なさい……。とか……。

しかし、当時の私にとっては右の耳から左へとスルーし、明日はいかなる理由を見つけて父に送ってもらおうとかかんがえるばかりでしたが、その私に事細かく説明をしてくれたものでした。

御当主(3代目だと思いますが) 家族は、この建物内にて生活を営まれていらっしゃったのは記憶にあります。私の眼にはとても自然に感じていました。特に、夜石造りのアーチ型の入口の上に白熱の灯りが灯る風情は何とも郷愁が帯びており、今でも私の脳裏に輝きを放つ忘れることのできない心の景色です。

平成12年、東海大の羽生修二教授にて建物調査がされており、最近小田原市歴史的風致維持向上計画の中の板橋地区重点地区の位置づけで建物の保存、利活用等の活動が活発になってきています。

明治36年(1903年)2月着工し、11月に竣工。内野種三郎氏が醤油製造業として開業しました。当時の建設費が詳細に記されている「明治参拾五年新築時支払い帳」(明治35年10月)なるものが保存されており、それによると、建設費は4490円かかったそうです。また、木材費・職人手間等が克明に記されていて、祝酒等建設当時の状況がよくわかります。

建物は旧道に面していて、袖蔵と店蔵が並び、さらに左手の袖棟に隠居がありますが、ここに防火壁があります。店蔵は寄棟造瓦葺平入り2階建て、軒先は三重の軒蛇腹を腕木が支えており、外壁の1部

はなまこ壁、2階の窓周りを銅張として、袖棟の防火壁共々防火建築を大変意識している建物です。

外観意匠では、入口に石造りアーチが用いられています。当時の和風な土蔵形式の中に、洋風のアーチは……? まったく違和感なく、内野醤油店のシンボリックに愛された空間ではなかったでしょうか(筆者勝手の思い込み)

アーチの入口がある店舗と居住が一体となっている店蔵の奥には、廊下を経て文庫蔵に至ります。そして敷地の西隅には、醤油製造工場と倉庫が配置されています。昭和50年まで使用されていた工場です。巨大な木製の醤油樽が6個も整然と鎮座されており、かつての内野醤油店の歴史の重みを寡黙に主張しているようです。

工場裏手に道路と、敷地の間を小田原用水が流れています。戦国時代、北条氏が城下町を潤すため施設した日本最古の上水道といわれています。残っているのはこの板橋地域だけになってしまったようで、他の地域は道路の拡張や改修工事などで跡形もないようです。この水音が涼を醸し出しており、内野醤油店は旧道板橋界隈をより一層歴史的価値のある空間として、次世代へと受け継がれていくことを信じてやみません。

※今月号は内野家(旧内野醤油店)その1概要と外観を記しました。内部においても意匠的に書院や欄間の指物細工が見事です。

次回その2として機会がありましたらお読みいただけたらと思います。

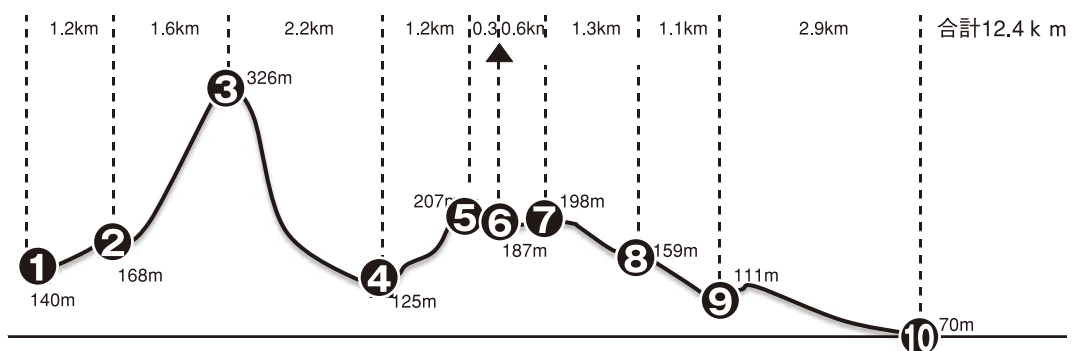


立面図



町並み散策ばらり in 神奈川

～自然にふれあい城山の歴史探訪～



津久井湖記念館／
津久井湖記念館には、水没した集落で使われていた生活用具や、風景写真などが数多く展示されており、神奈川県発展に寄与した集落の姿を今に伝えています。



② 三嶋神社／
境内には津久井名木 スダジイ樹齢400年の古木が聳え立っております。



③ 峰の薬師／
峯の薬師は津久井湖を見下ろす三井山頂にある古寺で、江戸時代には「武相四大薬師」の一つとして多くの信仰を集めた、『姿三四郎』の檜垣鉄心・源三郎兄弟との決闘の舞台にもなった。眼病に霊験あるという古寺。現在は曹洞宗の寺院で、大覚山東慶寺と号する。創建年代:1492



④ 三井大橋・三井そよかぜ橋
三井大橋(みいおおはし)／
太井の神奈川県道513号鳥屋川尻線の途中に架かるアーチ橋。かながわの橋100選に選ばれている。鋼ランガー橋で、橋長212m、幅員5.5m。
三井そよかぜ橋／
歩行者・自転車が三井大橋を通行する際の安全や利便性を確保するため三井大橋横に建設した歩道橋。2012年に開通。



⑤ 根小屋諏訪神社／
神奈川の名木100選である根小屋の諏訪神社のスギ。幹はまっすぐに高く堂々とそびえ、樹勢も旺盛な古木である。御神木として崇敬されている。樹高40メートル樹齢約500年(推定)。



⑥ 根小屋地区パークセンター／
城山の歴史と自然についてわかりやすく解説しています。乱世の時代の遺構を訪ねる。津久井城は戦国時代の根小屋式山城の様子を今に伝える貴重な城跡です。山頂まで散策しながら景観の良い自然を味わい約1時間、山全体の城を感じます。



⑦ 功雲寺(曹洞宗)／
築井城主内藤左近将景定が現在の根小屋に移転して太井山工功雲寺と定め、自らその開祖となった。応永15年(1408)小田原最乗寺の了庵恵明禅師の高弟大綱明宗大和尚により開山される。開基内景定の墓が現存している。



⑧ 飯縄神社(いづな神社)／
本殿には鯉の滝のぼりなど様々な美しい色彩の彫刻が施されています、城山山頂にも飯縄神社が建立されております。



⑨ 久保田酒造／
相模灘を造る久保田酒造株式会社は、弘化元年(1844年)に久保田惣右衛門氏によって創業された酒蔵です。建物も江戸後期に建てられた様子、内部は大きな部屋の続き間になっており囲炉裏もある、TVの八つ墓村のロケにも使われた古民家。



⑩ 新旧小倉橋／
相模川に架かる道路橋です。美しいアーチ型の橋は、城山のシンボルであり、「かながわの景勝50選」、「神奈川の橋100選」、「相模川八景」にも選ばれており、さらに「推奨土木遺産」にも認定されています。

委員会活動報告 ～景観まちづくり特別委員会～

まちづくり・ひとづくり・しごとづくり2

『景観整備機構と建築士の役割』勉強会 開催報告

景観まちづくり特別委員会
大沢 匠

地域活性化につながる町づくりの勉強会の第二回目。今回は（社）大阪府建築士事務所協会・景観整備機構（大阪市指定他）で活動されている、入口 嘉憲（いりぐち よしのり）先生を講師に迎えて業務としてのまちづくりや、景観整備機構での取組等をご紹介いただきました。

大阪府建築士事務所協会は平成14年から堺市大小路界限景観形成ルール作りや社会実験などの取り組みを評価されて平成18年7月に景観整備機構に指定されました。指定後には景観講演会の開催、大阪市と都市景観資源発掘の支援、中之島地区の景観特性調査など活発な活動を続けています。また平成22年度には、景観町づくりプロ養成講座を立ち上げ、今後他地域の景観整備機構との連携、専門家の派遣などを実施する予定とのことでした。入口先生の講演終了後、各支部から参加した22人の

会員が3つのテーブルに分かれてそれぞれのテーマ別に景観をテーマにワークショップを行いました。自己紹介から始まって自分の身の回りから町の景観をどう考えているか、今までの取り組みや今後について活発な意見が出ました。最後にそれを模造紙にまとめて発表。入口先生からそれぞれのグループの個性が出ていて素晴らしいとの講評をいただきました。今後もこの勉強会を続けて行きますのでどなたでもご参加ください。



委員会活動報告 ～設計監理指導委員会～

委員勉強会（移動委員会）開催報告

設計監理指導委員会 加藤 一郎

当日は夏真っ盛りのいい天気でした。このいい天気というのは、委員会開催に良いということではなく、委員会後に行われる海の家での納涼会に絶好の天気だったと言う事です。

わたしは初めての移動委員会参加という事もあり、鎌倉の駅に降り立った時から期待感で満たされていました。今回のテーマは、鎌倉市在住、当委員会梅沢委員による『伝統工法の家作り』と題して、会場も鎌倉・材木座、伝統工法で建てられた梅沢事務所で約2時間に渡り心地よい空間での講義が行われました。

そこでは机上の講義だけでなく、五感を使い快適な住まいとは何か？という事を実技？を交えて参加した私達に、伝えて頂きました。本当に暑い日でしたが、エアコンの力を借りることも無く自然に通り返っていく風だけで、十分に過ごす事が出来ました。そして、裸足で感じる杉無垢のフローリングの丁度いい柔らかさ、真壁ゆえに規則正しく並ぶ柱や梁からも感じる安心感など、住まいに本当に必要な物は何なのかを改めて考えさせら

れました。それは3・11後の日本人がもう一度本来の暮らし方を見つめ直す良い機会にもなると思いました。

過去から未来へ繋ぐ価値あるモノやコトとはなんのでしょうか？

私たち建築に携わる者(モノ)たちからの発信する事(コト)が試されています、学ぶべき事柄も多岐にわたる我々が正しい目を持っていなければいけませんね。

その後、修業の為に行った海の家での納涼会が価値に溢れ、大変充実した時となった事は言うまでもありません。



(株)横浜銀行と当会との 住宅ローンに関する協定の締結

会長 上原 伸一

当会では、会員にとって誇れる魅力のある会となるために、法定団体としての社会的活動と共に、会員の皆様の業務支援となる取り組みを積極的に行っています。

この度、神奈川県全域に営業展開している(株)横浜銀行と住宅ローンに関する協定を平成24年8月1日に締結いたしました。

この協定は、当会会員が建築設計または工事監理を行った住宅の建築主に対し、優遇金

利による融資に関する取り決めです。

この制度が会員の皆様の業務の一助になればと考えていますので、ご利用いただければ幸いです。

なお、神事協ホームページにて一般の皆様にご紹介いたしております。

また、会員の皆様には会員のページにて協定内容及び手続き等を掲載しておりますので、ご覧下さい。

会員の広場

お茶会（邸園保全活用）

川崎支部 恩田 耕爾

相模湾に面した湘南地域には邸園住宅地が多いですが、その歴史的建造物が近年なくなる傾向にあります。そんなことから、神奈川県は兵庫県に続き歴史的建造物の保存に向けての取り組みを始めています。私達は神奈川県での受講の2期生となります。60時間の学習によりこのヘリテージマネジャーの資格が取れます。今年はじめに、神奈川県での2期生5人ほどで磯子の古民家調査を始めました。レポートもまとまり一段落ということで、三線とお茶の会を楽しみました。三溪園の隅にある草笛庵にその場所を



借りました。夏なので結構暑いですが、滝の落ちる音が聞こえて音的に涼しかったです。リーダーがランドスケープもあるがサンドスケープも大事だと発言され、なるほどと感じました。



草笛庵：数奇屋風の茶室

去る平成24年8月9日(木)に開かれました平成23・24年度社団法人神奈川県建築士事務所協会 第9回・理事会概要については、神事協ホームページをご参照ください。

賛助会員紹介

株式会社ラクシー

担当者：神奈川営業所 所長 杉本
所在地：（神奈川営業所）神奈川県横浜市西区楠町10-8
（本社）千葉県松戸市東松戸3-7-21
連絡先：045-290-3222

URL：http://www.ruxy.co.jp/

弊社は大規模修繕工事を専門とし、関東一円で多くの建物に関わらせて頂いております。

何よりもお客様の満足を第一に、工事中は居住者様の過ごしやすさに重きをおいた現場運営、品質や顧客満足に対する指導として「検査専門部署の設置」や「役員巡回検査」を行っております。また、工事写真やお知らせ等を日々更新するお客様専用のWEBサイト『工事進捗情報サービス』で「工事の見える化」をしてお客様にご好評いただいております。



9

? 旅のクイズ 第26回 ? ? ?

問題

問題：この茅葺の門はどこの駅とどこの駅の間にあるのでしょうか？

駅名を2つ挙げてください。

ヒント：箱根の登山鉄道で箱根から強羅で乗り換え、ケーブルカーで早雲山へ行くまでに車窓から見えます。

答えをメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。

正解者の中から抽選で御一人に1000円の図書券を差し上げます。

(FAX: 045-212-3807)

E-mail: noguchi@j-kana.or.jp)

※締め切り：平成24年9月20日(木)

当選者は10月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。



第25回（8月号掲載）の当選は下記の通りです。

正解：銀座線

当選者：横浜支部

小泉木材（株）一級建築士事務所 竹内様

会員異動報告	
入会	
横浜支部	
赤岩勝彦デザイン事務所	赤岩 勝彦 〒220-0011 横浜市区西高島2-11-2 スカイメナー横浜909 TEL.045-450-6340 FAX.045-450-6341
(株)鬼塚工務店一級建築士事務所	斎下 弘道 〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川2-40-9 東神奈川クインビル1F TEL.045-620-3925 FAX.045-620-3926
芳賀設計室	木村 敬一 〒224-0065 横浜市都筑区高山11-18 TEL.045-941-0442 FAX.045-941-0443
川崎支部	
Kデザイン工房	堀 富博 〒212-0016 川崎市幸区南幸町1-33-2-203 TEL.090-9362-0351
大和綾瀬支部	
(株)荒谷構造設計	荒谷美津雄 〒242-0017 大和市大和東2-6-3 TEL.046-262-8035 FAX.046-262-8036
退会	
横浜支部	
リペアテック建築研究所	稲垣 禎信
変更	
横浜支部	
(株)神奈川県土地建物保全協会 (事務所名変更) 一般社団法人かながわ土地建物保全協会	
(有)システムデザイン (会員名変更) 瀬戸口 剛	岩井幸太郎
鎌倉支部	
たなはしゆか建築設計アトリエ (TEL・FAX変更) TEL.0467-50-0386 FAX.0467-50-0138	
賛助会異動報告	
入会	
ニチハ(株)市場開発部 〒103-0023 東京都中央区日本橋町1-6-5 ツカモトビル3F TEL.03-5205-3916 FAX.03-5205-3924 【代表者】 志和 雅人【担当】 伊豆蔵 聖治 【業種】 外壁材、屋根材、住宅機材等の製造・販売	

●お詫びと訂正 8月号掲載の賛助会員紹介の中で、一部記載内容（TEL）に誤りがございました。
■office HUB（オフィスハブ） （誤）TEL045-741-7953 （正）TEL045-777-3069 ここに訂正するとともに、お詫び申し上げます。

本誌掲載記事の内容は執筆者本人の見解において記述・掲載をしております。神事協としての見解ではございませんのでご了承下さい。

9月の行事予定	
9月1日	「神奈川県建築行政連絡協議会 構造関連取扱い基準集」改訂講習会(会場:海老名市文化会館)
4日	総財務委員会
6日	平成24年度神奈川県土木整備局事業及び建築行政の近況に関する懇談会(会場:ワークピア横浜) かながわ建築設計政経研究会役員会 支部長会
7日	「神奈川県建築行政連絡協議会 構造関連取扱い基準集」改訂講習会(会場:横浜市内開港記念会館)
10日	広報情報委員会
11日	家づくりセカンドオピニオン特別委員会
12日	設計監理指導委員会
14日	正副会長会 委員長会 みらいふれあいフェスティバル実行委員会 「Excel(エクセル)初心者」研修会 1日目 (会場:県立東部総合職業技術校)
18日	景観まちづくり特別委員会
19日	適合証明技術者登録講習会(会場:神奈川県民ホール大会議室)
20日	技術調査委員会
21日	企画業務委員会
24日	「Excel(エクセル)初心者」研修会 2日目 (会場:県立東部総合職業技術校)
25日	ブロック支部委員会 支部長合同ブロック支部委員会
26日	「住・緑・家」運営特別委員会 木造特別委員会
28日	新規開設「建築士事務所」講習会(会場:神事協会議室)

会 勢		平成24 年 9 月 1 日現在				
支部名	平成24年3月末日	現在	入会者	退会者	増減	
横 浜	275	247	17	45	-28	
川 崎	97	99	5	3	2	
横 須 賀	52	53	1	0	1	
湘 南 三 浦	18	18	0	0	0	
藤 沢	23	25	2	0	2	
鎌 倉	36	35	1	2	-1	
茅ヶ崎葉川	18	19	1	0	1	
平 塚	21	21	0	0	0	
伊 勢 原	8	8	0	0	0	
秦 野	18	18	0	0	0	
大和綾瀬	20	20	1	1	0	
厚 木	36	36	0	0	0	
座 間	13	12	0	1	-1	
海 老 名	15	15	0	0	0	
愛 川	7	8	1	0	1	
相 模 原	83	81	0	2	-2	
県 西	47	47	0	0	0	
合 計	787	762	29	54	-25	
賛助会員	74	75	4	3	1	

編集後記	夏の電気消費量が多く、電気量の不足が生じるのではなかろうかと不安を感じながらも、冷房のスイッチを恐る恐る入れてしまう、今年の暑い夏。何とか計画停電とやらは免れたらしい。海の彼方からは朝早くからメダルのニュースが。メダル獲得はできなくとも、世界最高のステージ、オリンピックに参加できるという事はとてつもなくすごい事なのですね！全員の皆様にエールを送りたいです。KANAGAWA 9月号をお届けします。広報委員は毎月会員の皆様に幅広い情報をお届けすべく知恵を絞っています。会員の広場・旅のクイズ・知らない街歩き、是非熟読していただきたいものです。 (県西支部 芝 京子)
------	--

かながわ 平成24年9月号（通号371号）	
発行 平成24年9月1日（毎月1日発行）	担当副会長 芝 京子
発行人 上原 伸一	広報情報委員長 佐藤 光良
発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会	広報情報副委員長 内藤 隆之
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12	広報情報委員 稲葉 勉
第3不二ビル2F	恩田 耕爾
TEL. 045-228-0755	小泉 厚
FAX. 045-212-3807	高橋 保博
印刷所 株式会社 柏苑社	新倉 良一
	坂本 歩美
	事務局 野口 友弘

衣笠の「魅力」をつたえよう。「未来の衣笠の町」 横須賀支部 小泉 厚

今までにない、新たな町づくりが始まっている現在、次世代の子供たちに町づくりとはどういうものか、また少しでも係ってもらいたい思いから、「ゲストティーチャー」として、小学校の総合学習の授業に参加させていただきました。

衣笠小学校3年生の総合学習の一環として、自分の町について知る授業があり、今回、この授業の中で衣笠の「魅力」を発見し、「未来の衣笠の町」をテーマに生徒と衣笠の町を考えてみました。

まずは生徒たちと衣笠の歴史を学び、衣笠の町は何が骨格で、何が魅力で、何が悪いか、またどうしたらいいかな、と話し合いながら町を歩き、子供たちの未来に対する問題点を投げかけました。教室での授業では、衣笠と横須賀線沿

線の他の町の駅周辺の特徴や世界の美しい街並みを画像を使って比較し、感じてもらい、未来の衣笠には何が必要、何を残したいかをみんなで話し合い、黒板にまとめあげました。

未来の衣笠をつくるにあたり、衣笠の骨格として「JR衣笠駅」「衣笠十字路」「平作川」を共通の条件として4チーム(1チーム約10人)に分け、それぞれのチームでテーマを考えながら90cm×180cmの敷地ベースに1/500の模型をつくり始めました。

各チームで衣笠をどのような町にしたいかを考え、テーマを発表し、夢のある「未来の衣笠の町」を創造しました。

今後、町づくりに関わっていく次世代の人たちにとって、今回の経験がよりよい衣笠の町づくりに活かされればと願っています。



平作川の散策。



土地利用の話し合い中。



作業風景。



■川の多い町

平作川をいっぱい広げて緑を増やし、公園や遊歩道、並木道をつくり、多くの人が川とふれあえ、みんなの生活と結びつけました。



■平和な町

衣笠は事件がない町であってほしいと思い、おもしろい建物や公園を多くつくって、みんなが笑顔になれる町としました。



■緑のあるゆったりした衣笠

衣笠には商店街があって人も多く、車もたくさん通りますが、学区探検した時に緑が多いのに気づきました。自然あふれる衣笠を大事にした町をつくりました。



■ゴミのないきれいな町衣笠

大人になっても衣笠がきれいな町でいて欲しい。「きれい」とはゴミがないことや、建物や道路が美しいことだと思い、きれいになれる工夫をしました。

知って得する木造住宅の知識(14)

～「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」

の改訂ポイント（一般診断法）～

大和綾瀬支部 高橋 国彦

「木造住宅の耐震診断と補強方法」は2004年に大幅な改訂が行われ、その後8年間の実施を経て、今回「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」が刊行された。新たな実験データの追加や診断方法の見直しの熟議が3年間余り重ねられ、今回の発行に至ったようである。

(1) 一般診断法における工法と基準耐力（ F_w ）の改訂前と改訂後の比較を示す。（診断法 P 31 参照）

1. 土塗り壁、木ずりモルタル下地、構造合板（準耐力仕様）等の基準耐力は改訂前より高い評価となっている。
2. 木ずり釘打ち壁、石膏ボード張り（厚9mm以上）、ラスシートモルタル等は改訂前より低い評価となっている。
3. ラスボードやラスボード下地湿漆塗りが、新規追加となった。
4. 不明な壁（基準耐力2.0 k N/m）は診断時のみで、補強診断では評価なしとなった。

(2) 一般診断法の「方法Ⅰ」における「その他の耐力」、及び有開口壁評価方法の見直し

旧診断法では開口壁の耐力を「その他の耐力」として必要耐力（ $P_e = 0.25 \times Q_r$ ）の25%をかさ上げしていたが、改訂版では開口部耐力は直接計算で評価（ Q_e ）することとなった。

その他の耐力要素の耐力 Q_e の算定方法は以下に示す。

有開口壁は、壁開口の長さから算定する方法を原則とし、建物形状が整形で一般的な木造住宅では、外壁面の無開口壁率から算定する方法を用いることも可能となった。（診断法 P 42 参照）

1) 有開口壁長による算定

$$Q_e = \Sigma (F_w \cdot L_w)$$

F_w ：窓型開口の場合 0.6 k N/m

L_w ：掃き出し型開口の場合 0.3 k N/m

上限は3.0mとする

2) 無開口壁率による算定

$$Q_e = a \times Q_r$$

$$a = 0.25 - 0.20 \times K_n$$

K_n ：無開口壁率、外壁長に対する無開口壁長の長さの総和の比。各方向において小さな値を採用。

ただし、補強建物の診断では垂れ壁、腰壁を補強していない場合は $a = 0.10$ とする

(3) 柱脚・柱頭接合の低減係数の見直しと、不連続による不具合の解消。

今回の接合金物の見直しの結果（表-1）は次のように改訂された。比較のために下段（ ）の数値は旧診断基準の低減係数を示した。平屋建て、2階建の下屋の場合、2階部荷重の押さえ効果が期待できない下屋部分の低減係数は高い数値（低減が少ない）の改訂となった。また旧診断基準では低減係数が不合理な階段状の変化をしていたが、改訂後では直線補間に修正した。（ ）は旧基準低減係数

平屋建て端柱の柱頭・脚接合部種類による低減係数(Kj)、下段は旧低減係数Cf(表-1) (診断法P 75参照)

壁準耐力 (kN/m)	2.0			3.0			5.0			7.0		
接合部	基礎Ⅰ	基礎Ⅱ	基礎Ⅲ	基礎Ⅰ	基礎Ⅱ	基礎Ⅲ	基礎Ⅰ	基礎Ⅱ	基礎Ⅲ	基礎Ⅰ	基礎Ⅱ	基礎Ⅲ
接合部Ⅰ	1.0	0.85	0.85	1.0 (1.0)	0.85 (0.7)	0.7 (0.35)	1.0 (1.0)	0.8 (0.6)	0.7 (0.25)	1.0 (1.0)	0.8 (0.6)	0.7 (0.2)
接合部Ⅱ	1.0	0.85	0.85	0.9 (0.8)	0.75 (0.6)	0.7 (0.35)	0.85 (0.65)	0.7 (0.45)	0.65 (0.25)	0.8 (0.5)	0.7 (0.35)	0.6 (0.2)
接合部Ⅳ	0.7	0.7	0.7	0.6 (0.35)	0.6 (0.35)	0.7 (0.35)	0.5 (0.25)	0.5 (0.25)	0.5 (0.25)	0.3 (0.2)	0.3 (0.2)	0.3 (0.2)

(4) 各診断法における調査の重要性を再認識し、必要な調査内容を明記

耐震診断結果の正確さは、調査によるところが大きい。一般診断法では、耐力要素などの特定にあたり、仕上げ材などをむやみに引き剥がして調査する方法は、居住者の同意が得られ難いこともあるが、一般診断法でも精密診断法でも出来る限り可能な調査を行うことが必要である。調査の大切さを再認識し、それぞれの診断の中で、必要な調査内容を明記することとした。

耐震診断の計算をする上で採用する数値に直接関係する主な調査項目は以下に示す。

- ① 基礎、地形：地盤、地形を目視により確認し、さらに資料を収集して判断する。
- ② 地盤種別：地盤が著しく軟弱な区域（3種地盤）であるかどうかを判断する資料を収集して判別する。
- ③ 基礎仕様：「基礎Ⅰ」、「基礎Ⅱ」、「基礎Ⅲ」、のいずれに該当するか調査する。
- ④ 対象建物の分類：建物の重量を確認する為の調査を目視により行う。
- ⑤ 混構造：図面確認、及び、目視により建物の構造を確認する。
- ⑥ 耐震要素（壁）：図面等を参考としながら耐震要素の位置や仕様、耐震要素（壁）、梁継手等を調査する。
一般診断の現況診断に限り「不明な壁」の耐力として2.0 k N/mを採用することができる。
- ⑦ 柱頭柱脚における接合仕様を確認する。これは耐力壁の性能が発揮出来るかどうかの判断材料になる。
- ⑧ 屋根構面、床構面：屋根勾配、面材の種類、垂木の種類、根太の仕様、火打ち等の調査をする。

(5) 一般診断法による補強計画

一般診断法の現地調査は、基本的に非破壊検査である。よって補強設計において耐力壁内の劣化や耐力壁面材や接合部の仕様等は推定によるため、既存の壁の劣化の状態には注意を払い、評価は慎重に行うことが望まれる。以下の仕様になっていること、及び確認が必要である。

- ① 仕様が不明な壁の耐力は評価しない。
- ② 垂れ壁、腰壁を補強していない場合はその他の耐力 $Q_e = 0.1 \times Q_r$ とする。
- ③ 耐震補強工法には、筋かいや構造合板などの在来工法と、第三者機関により評価された工法を用いる。
- ④ 劣化したモルタル塗り壁や化粧合板などは詳細に調査を実施した場合を除き、補強設計では評価しない。
- ⑤ 劣化低減係数は、詳細な調査を実施した場合をのぞき、原則、現況診断で採用した低減係数を用いる。
- ⑥ 鉄筋コンクリート造の基礎ではひび割れのある場合は補修する。
- ⑦ 無筋コンクリート造の基礎は鉄筋コンクリート布基礎と抱き合わせることで補強する。

(6) む す び

現況診断では「一般診断法」を用いて行うが、耐震性が満足出来ない場合は原則として「精密診断法」による診断を行い、最終的には補強の可否を判定する。補強後の診断においても原則、「精密診断法」による診断を行うと規定しているが、改訂では「一般診断法」を用いて補強設計を行うことも可としている。
「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」によると補強設計は現況調査に基づいた一般診断法よりも精密診断法による方法が確実で高い構造評点が得られることになり、補強箇所も少なくなることから補強工事費の軽減につながるものと考えられる。